

防災フェスタで広がる地域とのふれあい



全色勢ぞろい



大人気の展示車両



募集相談員とコラボ



初めての自衛官

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3海佐）は、11月1日（土）に大和市の引地台公園令和広場で実施された「防災・消防体験フェスタ2025」において、広報活動を行った。

当日は「知ろう・学ぼう・備えよう」をテーマに、防災に関する官民の多くの団体が出展し、多数の来場者がさまざまな防災体験を通じて防災への理解を深めた。厚木募集案内所は陸上自衛隊第4施設群の支援を受け1/2トラック展示や「ちびっ子迷彩服試着体験」を実施したほか、災害派遣活動を紹介するパネルなどを展示し、自衛隊ならではの視点から防災啓発に取り組んだ。

特に1/2トラックの展示と「ちびっ子迷彩服試着体験」は大人気で、参加した子供たちは好きな色の迷彩服を着て展示車両の前で記念撮影を楽しみ、会場は終始にぎわいを見せた。また、厚木管内の自衛官募集相談員もブースを訪れ、採用に関する広報活動を協力して実施し、来場者への理解促進に努めた。

さらに、イベントのスタンプリーを通じて多くの来場者がブースを訪れ、自衛官とふれあう良い機会となった。「思ったより気さく」「このような活動をしていることは知らなかった」といった感想のほか、「災害時はよろしくお願ひします」「これから頑張ってください」といった温かい言葉も寄せられるなど、イベントを通じて多くの来場者と交流し、自衛隊ファンの拡大につながった。

厚木募集案内所は「今後も地域のイベントに積極的に参加し、ふれあいを大切にしながら自衛隊及び自衛官への理解促進に努めていく」としている。